

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 3 7 回	令和 6 年度	文学賞	小説	あなたがどて煮でも好き	長谷川 彩香
			児童文学	おじいちゃん。ボク、友だちが出来たよ	高橋 めぐる
			詩	いつか小学生だったあなたへ	橋本 恵実
			短歌	火を渡す	愛川 弘文
			俳句	古牟呂	吉村 さよ子
		佳作	小説	大嫌いな父は、余命二ヶ月	牧野 華子
				マトリョーシカ	橋本 恵実
			児童文学	将棋村の決戦	福田 大助
				トキノカケラ工房	紫葉 柚月
			詩	わたし いい子	アラキ 歩
				風	浅田 らんこ
			短歌	おばあちゃん	佐藤 陽子
				釈迦の末裔	藤本 典裕
第 3 6 回	令和 5 年度	文学賞	小説	ムギと俺の日曜日	紫葉 柚月
				勇者タケさん	こばやし まきこ
				うさぎ・悲しみ	松波 直子
				行々林週報	山口 正明
				該当なし	
		佳作	小説	呉汁とチャイナドレス	田畑 稔
				愛しの人魚姫	米川 ちゅちゅ
			児童文学	数のないせかい	まちの まいこ
				水たまりの向こう	九重 月子
			詩	孤独を楽しむ	池田 久雄
				陽だまり	海野 舞羽
			短歌	黄金比	富岡 勝
				飯山満暮らし	石澤 廣太
第 3 5 回	令和 4 年度	文学賞	小説	少年	清水 陽子
				跳躍す	樽谷 幸龍
				夏好み	北川 京史
				未来への滑走路	青山 祐一郎
				上大岡ユミの純情	原 さわ
		佳作	児童文学	眼差し・突っ端	原 詩夏至
				アルマジロの電話	岡田 美幸
			詩	花に癒さるる日々	三澤 正弘
				ひまわりと夏	中村 桃香
			短歌	空の乳母車を押す	米川 ちゅちゅ
				アンダーソンさんの秘密	こばやし まきこ
			俳句	あの日、僕が見た夢	音一
				無花果はお好き・百花	高橋 宗司
第 3 4 回	令和 3 年度	文学賞	小説	夢	竹島 沙織
				しなやかにいく	水門 房子
				万葉集30首への返歌	酒井 里子
				米寿の記録	月岡 千秋
				天使たちの記憶	根岸 宏樹
		佳作	児童文学	ときわ きよし	とさわ きよし
				二セモノ家族	
			詩	そして海へ	山本 信明
				四季を詠む	藤井 元基
			短歌	跳梁	中根 一仁
				辞典の縁	番沢 仁識
			俳句	ハシビロコウとナマケモノ	こばやし まきこ
				ふうせん猫	朝野 きの子
第 3 3 回	令和 2 年度	文学賞	小説	繭	高橋 宗司
				「へそ」他一篇	糸崎 舞
				野良猫の詩	奥山 薫
				エサ金、金来軒、割烹料亭・旅館、船橋漁港	天下井 恵
				心音	望月 玲那
		佳作	児童文学	コロナ元年	杉澤 いづみ
				五坪の庭	藤本 典裕
			詩	山繭	野瀬 敦子
				山開き	中嶋 久登
			短歌	おばあちゃん	佐藤 陽子
				釈迦の末裔	藤本 典裕
			俳句	わたし いい子	アラキ 歩
				風	浅田 らんこ
第 3 2 回	令和 1 年度	文学賞	小説	大嫌いな父は、余命二ヶ月	牧野 華子
				マトリョーシカ	橋本 恵実
				将棋村の決戦	福田 大助
				トキノカケラ工房	紫葉 柚月
				おじいちゃん。ボク、友だちが出来たよ	高橋 めぐる
		佳作	児童文学	あなたがどて煮でも好き	長谷川 彩香
				いつか小学生だったあなたへ	橋本 恵実
			詩	火を渡す	愛川 弘文
				古牟呂	吉村 さよ子
			短歌	おばあちゃん	佐藤 陽子
				釈迦の末裔	藤本 典裕
			俳句	わたし いい子	アラキ 歩
				風	浅田 らんこ
第 3 1 回	令和 0 年度	文学賞	小説	大嫌いな父は、余命二ヶ月	牧野 華子
				マトリョーシカ	橋本 恵実
				将棋村の決戦	福田 大助
				トキノカケラ工房	紫葉 柚月
				おじいちゃん。ボク、友だちが出来たよ	高橋 めぐる
		佳作	児童文学	あなたがどて煮でも好き	長谷川 彩香
				いつか小学生だったあなたへ	橋本 恵実
			詩	火を渡す	愛川 弘文
				古牟呂	吉村 さよ子
			短歌	おばあちゃん	佐藤 陽子
				釈迦の末裔	藤本 典裕
			俳句	わたし いい子	アラキ 歩
				風	浅田 らんこ

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 3 3 回	令和 2 年度	文学 賞	小説	最終目的地	近藤 美恵子
			児童文学	虹色の指編み	もり ひかる
			詩	「蝉」「風のプリズム」	鈴木 久吉
			短歌	該当なし	
			俳句	望郷	鎌田 道子
		佳作	小説	星の大地に沈む	高畑 恵
				毛糸の帽子とユキ	宮城 徳子
			児童文学	あしあとがないみち	ときわ きよし
				七夕の出会い	谷口 美奈子
			詩	金色の輪	福田 大助
				夫婦の奥引出し	池田 久雄
			短歌	傘寿のほとり	藤井 元基
				国民学校一年生	村田 敏行
第 3 2 回	令和 元 年度	文学 賞	小説	家族の擬態	矢島 寿子
			児童文学	彼岸過ぎてても	袋布 修一
			詩	春キャベツの事件簿	鈴木 悦子
			短歌	梅檀の花	竹内 敦子
			俳句	花野行く	菊池 ひろ子
		佳作	小説	小さなミカンの木	鈴木 悦子
				天使はどこにだっている	山下 教江
			児童文学	F I R E F L Y	原 さわ
				シークレット・ブランチ・オペレーション！	ときわ きよし
			詩	石の記憶	市原 とし子
				星の花束	石井 直記
			短歌	走る夢	山内 秀允
				二つのふるさと	鈴木 純子
第 3 1 回	平成 3 0 年度	文学 賞	小説	ハーフムーン	オダ 暁
			児童文学	鮫島	大藪 猛
			詩	あなたが言いたかったこと	村山 節子
			短歌	喜寿つれづれ	三澤 正弘
			俳句	住み古りて	杉澤 いづみ
		佳作	小説	イルミネーション	近藤 美恵子
				紀恵さんと蛙	丸山 秀幸
			児童文学	夏の友だち	袋布 修一
				僕はゴキブリ	原 さわ
			詩	あの感動を	川崎 富子
				スパーク	滝口 悦郎
			短歌	春・夏に詠う	藤井 元基
				二重丸	松田 佐津子
			俳句	春・夏に詠む	藤井 元基
				この地に生きる	西村 渾

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 3 0 回	平成 2 9 年度	文学賞	小説	図書館の天使	野口 絵美
			児童文学	月をめぐるおはなし	北 ゆかり
			詩	該当なし	該当なし
			短歌	山鳩のスイッチ	小曾納 康子
			俳句	東日本大震災	橋 良彦
		佳作	小説	メビウスの迷宮	オダ 暁
				こちら船山市役所「何でもヤル課」	梓 勇桂生
			児童文学	兎	大藪 猛
				たのしい夢	音野 正譜
			詩	定年のおくりもの	橋川 幸子
				定義	浅野 竜
				真昼のデッサン	オダ 暁
				「花の地球」「予感」	鈴木 悦子
				楽しみの魔法	星 花絵
			短歌	秋を詠む	藤井 元基
				意のままならず	竹内 敦子
			俳句	夏安居	月岡 千秋
				好日	杉澤 いづみ
				船橋 ばか面踊り	山岡 英明
第 2 9 回	平成 2 8 年度	文学賞	小説	鳳仙花	秋野 鈴人
			児童文学	氷の花	小倉 忠志
			詩	暗室	青柳 泉
			短歌	該当なし	該当なし
			俳句	凌霄花	村松 行人
		佳作	小説	まどろむ蝶たち	オダ 暁
				横断歩道の男	あおき ゆか
			児童文学	ママの魔法	西脇 めい
				未熟なトマト	大野 晴山
			詩	心を解いて	むらやま せつこ
				八月二十七日	鈴木 久吉
			短歌	八十の関	長谷 芙水子
				アンデルセン公園の四季讃歌	松田 佐津子
				サファイア婚	三澤 正弘
		俳句		春来	藤井 元基
				俳三昧	岡戸 良一
				きもの細々	栗原 元子
第 2 8 回	平成 2 7 年度	文学賞	小説	ぴん・ぴん	有富 久子
			児童文学	消えた名前	栃本 はるみ
			詩	サンゴの涙	須貝 志げ子
			短歌	去年の花火	秋山 和子
			俳句	旅ごころ	山本 明彦
		佳作	小説	神様に届くジャズ	鈴木 梨
				粉ふき芋とピカタ	野口 絵美
			児童文学	私の車掌さん	高橋 めぐる
				ぼくのユーレイ親友	桜井 真希
			詩	朝食（ある朝の想い）／横断歩道を渡る	斉藤 博
				私のシルクロード	柏木 沙智
			短歌	悟空の雲	川崎 富子
				風に癒されて	生園 泰子
		俳句		無骨な手	村松 行人
				京の夏	小山 宏治

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 2 7 回	平成 2 6 年度	文学賞	小説	クロい、マニョンの言葉	平川 慧
			児童文学	クソ星	遠田 誉
			詩	復興への歩み	條川 さくら
			短歌	該当なし	
			俳句	天使の画集	湯浅 康右
		佳作	小説	先生と僕と青い空	矢島 寿子
				海辺の迷宮	野々宮 斎
			児童文学	シェイ、シェイ	不破 恵美
				メモリー アンド メモリー	櫻井 かのん
			詩	あじのめだま	あおい満月
				終戦69年の我が想いと我が人生	村上 錦二
			短歌	硝子越しの話	住川 幸
				眠る母	青柳 泉
				いのち	菅 幸子
				母を看取る	三澤 正弘
			俳句	稲熟るる	杉澤 いづみ
				梅雨茫茫	谷川 凉子
第 2 6 回	平成 2 5 年度	文学賞	小説	両国橋を渡れば	柚原 良
			児童文学	夏祭り	殿岡 秀秋
			詩	該当なし	
			短歌	心を洗ひ 心を磨く	緒方 宗秋
			俳句	該当なし	
		佳作	小説	白い猫	近藤 美恵子
				墨絵の人	伊藤 時也
			児童文学	るなとみんなの大切な思い出	桜井 美月
				百ミリおっさん	金子 翔吾
			詩	色具合長考いろは歌	古城 いつも
				少年と老人	福田 大助
				夢	渡部 力輝
				癪と明石海人	久多羅木 光子
				夜の公園	山本 英児
			短歌	レクイエムⅡ「七年ののち」	山内 秀允
				母の信念	秋山 和子
			俳句	少年の夢	月岡 千秋
				御菜浦	渡部 節郎
				浅草辺り	栗原 元子
				霊峰富士	小山 宏治
				ふるさと	山本 明彦
第 2 5 回	平成 2 4 年度	文学賞	小説	きみにやさしいその腕を	晩生 みのり
			児童文学	トラブル オン ザ ボーダー	天羽 勝子
			詩	分かれ道	松田 悦子
			短歌	白き橋	山崎 啓子
			俳句	酒蔵	橋本 一郎
		佳作	小説	ジャングルジムで待ち合わせ	栃本 はるみ
				聖母の椿	野々宮 斎
			児童文学	あたしは、ここにいるよ！	もり たかみつ
				僕らの転校生	脇坂 詩織
			詩	白と赤の記憶	須貝 志げ子
				毎日の散歩	水野 和真
			短歌	温もり	菅 幸子
				周とアン－「へいわでいいね」	安楽 嘉子
			俳句	スイス紀行	小山 宏治
				挽歌	多喜緑

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 2 4 回	平成 2 3 年度	文学賞	小説	朱い、みどり	杜尚也
			児童文学	三月初めのお花見	近藤みえこ
			詩	該当なし	
			短歌	挽歌―出理子・永遠に十七歳	大内はる代
			俳句	東欧の旅	実藤公一
		佳作	小説	梅雨のあわいに飛ぶ	晩生みのり
				ソルティー	田畑稔
			児童文学	普通の僕といんちき自動販売機	村山安志
				てんでんこ	ふるうちようぞう
			詩	シーツを畳む	斉藤博
				東北の父よ―東北人讃歌―	福田大助
				兄弟	竹内大貴
				東日本大震災惨禍	長坂孟
				野の仏たちの毎日	小林紀六
			短歌	アットホームつれづれ	狩野ちゑ子
				あの日以後	青柳泉
			俳句	哀しき春	本宮俊郎
				出羽三山行（蕉翁を偲びて）	小山宏治
				色なき風	金子典子
第 2 3 回	平成 2 2 年度	文学賞	小説	応援席のピンチヒッター	市川あずま
			児童文学	ピースサイン	山崎道子
			詩	閉まった門扉	岩佐てい子
			短歌	日々を詠む	馬場美恵子
			俳句	喉仏	高田睦子
		佳作	小説	光の花と僕のヒカリと	上西亜由美
				ミヤマクワガタ	藤本未夏
			児童文学	朝の風の中で	近藤美恵子
				桜頭巾ちゃん	袋布修一
			詩	静物（果実と野菜）	斉藤博
				駆け抜ける風	なかち P
			短歌	ぼつねんの夏	青柳泉
				星は見えねど	泉澤真佐子
			俳句	四季雑詠	窪田空華
				佐渡の旅	小山宏治
第 2 2 回	平成 2 1 年度	文学賞	小説	雛人形	山下信子
			児童文学	ぼくの夢	もとまつひさこ
			詩	笑顔の表情	Toshino grafitti
			短歌	日常	永野喬平
			俳句	該当なし	
		佳作	小説	パリ 1831年 冬	大谷隆介
				セルリアンブルーの空の下	野々宮 斎
			児童文学	「ネムの木のある家」	西山みち子
				モウ子と桃子	有吉和枝
			詩	鶉と出会った日々	滝口悦郎
				三番瀬	Yoshy
			短歌	船橋の家	三澤正弘
				レクイエム「妻よ、妻よ、妻よ」	山内秀允
			俳句	夏	久保正明
				ラオスの旅三十句 メコンの流れ	実藤公一
				郷の四季	長谷川ひさを
				北東北の旅	小山宏治
				四季折々	飯尾婦美代

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第21回	平成20年度	文学賞	小説	告白	水門茂夫
			児童文学	Hello, My Dear	三原杏菜
			詩	意固地な会話	宮本俊作
			短歌	参番館のゆめ	田中律子
			俳句	パリの夏	山下良江
		佳作	小説	はりせんぼん	有馬朱夏
				蝉の声	山下信子
			児童文学	かくれんぼ	だんちょう
				忘れ得ぬ少年・少女	市瀬潤子
			詩	つぶつぶ	中田文夫
				赤	川瀬杏子
			短歌	安房の海	山崎啓子
				癌体験	遠西通男
			俳句	福寿草（施設で暮した母へ）	浜和佳子
				束縛の無き日々	三澤正弘
第20回	平成19年度	文学賞	小説	犬の記憶	翔我部わたる
			児童文学	智ちゃんときつね	大谷隆介
			詩	該当なし	
			短歌	言葉は光る	三輪恭子
			俳句	該当なし	
		佳作	小説	ふなばし暮れ景色	厚畑章二
				そうして、歩いていく	丘みすみ
			児童文学	かさ	黒木真吾
				町の大道芸人 オサムとトンマロ	やまこしわたる
			詩	雨	岩佐てい子
				ユキノフルヒニ	黒木直子
				陽射しの中で	斉藤博
				千の風	宮本俊作
				真夜中のタップダンス	安井正人
			短歌	やすらぎ	田中律子
				林檎畑	宮尾清美
			俳句	鷗尾の影	長谷川ひさを
				花巡り	清水明子
				鳳仙花	斉藤杜子
第19回	平成18年度	文学賞	小説	人形と風船	香春口二
			児童文学	花火の夜に	小野敬子
			詩	傘寿の顔	前田英雄
			短歌	アウシュヴィッツから	青野長幸
			俳句	該当なし	
		佳作	小説	夜の静寂で 有馬はいつか。過期とはいえない子猫までの廻 びしち	川口あきら
					浅井秋
			児童文学	かえるのよめいり	金子翔一
				影男	川田由實
			詩	あなたという宇宙	鈴木悦子
				記憶	斉藤博
				曝す	黒木直子
			短歌	稲の光	和木英哲
				対角線の君	尾崎恒雄
				私の舞台	佐藤陽子
		俳句		腹据ゑて	細谷鷹生
				子どもらと	笹川奎治
				看護	酒井たか子

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第18回	平成17年度	文学賞	小説	マグロフック	安井正人
			児童文学	夢のむこうへ	すずきやすえ
			詩	わたし	塩田勢津子
			短歌	冷えた肋骨	岩崎恵
			俳句	私の時間	佐々木秀子
		佳作	小説	月曜日の憂鬱と猫のような彼女	浅井秋
				十七歳の青春	野中雅子
			児童文学	床下に春がきた	高橋建朗
				はぐれた子熊	殿岡秀秋
			詩	米寿を迎えし夫	古矢トミ
				生きる	狭霧遥
			短歌	虫たちよ	青野長幸
				最後の審判ーミケランジェローー	猪飼久
			俳句	偕老	細谷鷹生
				校長室	村上勲
第17回	平成16年度	文学賞	小説	富士のけぶりの	とのいけちから
			児童文学	ネコ	浅井秋
			詩	夏	塩田長幸
			短歌	幽囚	長谷川ひさを
			俳句	おちこち	片野幸吉
		佳作	小説	富士道行脚	川尾覚
				サイレント・ルーム	月乃レオナ
			児童文学	日本の木	黒木直子
				私の町の小さな探偵局	泉なお
			詩	父の半生	古矢トミ
			短歌	栃の木	飯室洋子
				第三楽章	奥田智弘
			俳句	「中学校」	村上勲
第16回	平成15年度	文学賞	小説	ラグーンに映る月	水野文緒
			児童文学	該当なし	
			詩	母の庭	佐々木カツコ
			短歌	該当なし	
			俳句	小鳥来る	高木一恵
		佳作	小説	私の一里塚	川尾覚
				再来日本（ツァイライリーベン）	池田重之
			児童文学	ジダンダひめ	栃本はるみ
				325個のリボン	金子翔一
				ユーカリ日記物語	江良有璃子
				ぼくの場所	近藤美恵子
			詩	一本のタオル	蘭菜
				映る私	黒木直子
				人として	高橋五月
				ただしいこどものそだちかた	祥まゆ美
			短歌	亡夫よ知りてよ	山下栄子
				春めく	片野幸吉
			俳句	灸花	湯浅康右
				秋	直江裕子

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 1 5 回	平成 1 4 年度	文学賞	小説	ネオンテトラにさよならを告げ	南崎晶子
			児童文学	お父さんのカビ	宇野光範
			詩	チカラシバのような母	高村晴美
			短歌	該当なし	
			俳句	該当なし	
		佳作	小説	骨の花	大津貞夫
				コンクリート葬	飯山みつる
			児童文学	忘れない日	齋藤邦衛
				タイフーンむすめ	栃本はるみ
				しょう太のヘソ捕物帖	山田くに恵
			詩	カイバル岬	塩田長幸
				いちにちがはじまる	新村知子
			短歌	「胃全摘術」を越えて	奥田智弘
				揺れやまぬ夏	一條美瑛子
			俳句	土偶少女	平栗瑞枝
				春愁	飯尾婦美代
				吾子よ	高木一恵
第 1 4 回	平成 1 3 年度	文学賞	小説	山芋掘り	浅野竜
			児童文学	まりも	藤沢令子
			詩	私が小石を蹴ったら…	布施皆子
			短歌	下総薬園	古澤周子
			俳句	挽歌	笹原三雄
		佳作	小説	夢の背中	山之内真樹子
				加賀谷さんのパンツ	南崎晶子
			児童文学	水のように	殿岡秀秋
				とっても大きな木	中田裕之
			詩	鍵	永岩京子
				生きてしまう前に	塩田勢津子
				老いる とは	星野はるか
			短歌	日々想うこと	奥田智弘
				鶴岡八幡宮	猪飼久
		俳句	隠岐ノート	高木咲耶	高木咲耶
				佐保姫	勝見玲子
第 1 3 回	平成 1 2 年度	文学賞	小説	幻想校庭の四季	殿岡秀秋
			児童文学	ばたばたまつり	川上美栄子
			詩	該当なし	
			短歌	秋にかきゆく	加来静
			俳句	喜怒哀楽	高尾泉
		佳作	小説	理由（わけ）あって出（で）かけます	南崎晶子
				夕陽	初山のぶ
			児童文学	蛍光灯の白い闇	栃本はるみ
				しんちゃんのおまもりぐも	金子和枝
			詩	もう一つの海	佐々木カツコ
				あなたはどこに行きますか？	山部桜
			短歌	喜寿を迎えて	猪飼久
				風の町	一條美瑛子
		俳句	聖五月	勝見玲子	勝見玲子
				母子草	平栗瑞枝

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 1 2 回	平成 1 1 年度	文学賞	小説	アンビシャス	木之下実
			児童文学	神サマと私	菱沼啓実
			詩	有蓋貨車	樋川建夫
			短歌	和服仕立て	小樽礼子
			俳句	父の肩	安達千恵子
		佳作	小説	モグラの日	まきまさき
				言い違い	殿岡秀秋
			児童文学	十二歳の夏が過ぎて	吉種悠希
				穴うさぎロココの冒険	こんどうみえこ
			詩	少し静かに	久保園英子
				地雷のある村に生まれて	高村晴美
				眠る男	松田悦子
			短歌	白き胴輪（ハーネス）	古澤周子
			俳句	初声	高木咲耶
				一秒	吉田麗子
第 1 1 回	平成 1 0 年度	文学賞	小説	いろはにほへと	齋藤念魚
				恋に似せて	高橋真也子
			児童文学	闇夜を走る猫	門田晴美
			詩	唇人間の誕生	殿岡秀秋
			短歌	該当なし	
			俳句	介護も日々	青山正生
		佳作	小説	ブラットホーム	木村和人
			児童文学	赤い首わ	冨木ゆき
				森の贈り物	大谷隆介
			詩	キス	星野はるか
				花火「ハナビ」	鳥越桃太郎
			短歌	四季折々	河瀬通子
				晩夏まで	青柳泉
				雨、そして…	一條美瑛子
				田園	清水和江
			俳句	揺れ動く五十歳	若松昭子
第 1 0 回	平成 9 年度	文学賞	小説	該当なし	
			児童文学	ぼくのゴールデンウィーク	堀江妙子
			詩	該当なし	
			短歌	店を守りて	宮沢安正
			俳句	ひよんの笛	遠山みち子
		佳作	小説	制度改正最後という妙な星の下の人生	中島誠一
				トルコ横丁の四季	木村キミ
				重久と幕末の佐倉	石田重一郎
			児童文学	ぐずでのろまのワタルはぼくの宝物	さとうよしこ
				大切なこと	麻生深苗
			詩	けんかのあと	鶴田涼子
				母	井上くに子
				海老川堤の風に向かって「寂しさ」	高尾友維
			短歌	つわの花（老い深みゆく父との日々）	阿倍多恵子
				私の秋	小樽礼子
				八手の花	清水和江
				ピリオド（終止符）	村田三夏
			俳句	アトリエ	亀井美奈美
				母	樋口良子

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 9 回	平成 8 年度	文学賞	小説	夢のあとに	中島祥子
			児童文学	天ぐさまと子どもたち	笹川奎治
			詩	行商人（ある男との出会い）	高橋真也子
			短歌	該当なし	
			俳句	山の音	勝田房治
		佳作	小説	木枯らし一号	会田武三
				ふるさとのうた	齋藤念魚
			児童文学	クリスマス・イルミネーション	藤沢令子
				風景画	田実香代子
			詩	今度恋をするのなら	あひるのペキン
				タイムトラベル	鈴木愛
				さるすべり	船越達子
				おしろい花	南條けさ枝
				雲のわたあめ	岩佐てい子
			短歌	家族小景	青柳泉
				スペイン紀行	小嶋和夫
				幻想	梅原文男
				老	梅原ふさゑ
			俳句	春日遅々	平栗瑞枝
				卒哭	柿崎宗一
第 8 回	平成 7 年度	文学賞	小説	雪国にて	浜野和子
			児童文学	該当なし	
			詩	弱視児日記	久保田博
			短歌	春夏秋冬	是永れん子
			俳句	該当なし	
		佳作	小説	小説 謙信と臼井城	石田重一郎
				風の吹くままに	船越達子
				夜勤	宮崎和雄
			児童文学	わんぱく親子ーおれと父ちゃんの夏休みー	渡部真行
				アルノーとぼくらのしましま	大庭雛子
			詩	にじのほん	度會拓也
				テスト	鹿村有沙
				非常階段	山田隆司
				渡し船	高橋真也子
				青影	矢納猫子
			短歌	香港駐在	清水早苗
			俳句	春一番	牛島玲子
				水着の視線	吉田麗子
				四季逍遙	平栗瑞枝
				恋のうた	亀井美奈美
第 7 回	平成 6 年度	文学賞	小説	壘の中の船	木下紀子
				にせ正義の味方超人マン	次家あな
			児童文学	該当なし	
			詩	あたりまえよ	松下今日子
			短歌	該当なし	
			俳句	四季讃讃	坂巻正二郎
		佳作	小説	天使ーマダムHにー	千野由紀
				釈迦堂川	会田武三
				幻の電車	殿岡秀秋
			児童文学	ふしぎな書道じゅく	村上次郎
				かれは犬ルー	西山ひさ乃
				「さくら荘」のばけもの	冨木ゆき
				海からやってきたウミ	飯塚須磨子
			詩	とけいのおはなし	大庭雛子
				子供	井上花衣子
				ひなたぼっこ	囲憲一
				コスモス	久保田博
			短歌	月は乳いろ	中村祐子
				火災の始末記	豊田かずゑ
				季移りゆく	三澤正弘
			俳句	沼	亀井美奈美
				凸凹の空	青山正生
				草の絮	遠山みち子

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第6回	平成5年度	文学賞	小説	該当なし	
			児童文学	一九六〇年・友だち	浅野竜
			詩	該当なし	
			短歌	該当なし	
			俳句	庭の箒	斎藤厚子
		佳作	小説	A Day in the Life	千野由紀
				デルタの町	吉野実
				ヒグラシになる	囲憲一
			児童文学	ひまわり	保坂ちひろ
				分校がるすの日	さとうよしこ
			詩	親愛なる私の祖父ーじいやんに捧ぐ	鳥羽礼子
				待合室	影山紫翠
				ブナの森に魅せられて	久保田博
				蛇の道	石井真也子
				教師	山田隆司
			短歌	冬の塩	梶家佐代子
			俳句	定年以後	坂巻正二郎
				心象の四季	伊藤杏花
				新木場の匂ひ	佳苑
第5回	平成4年度	文学賞	小説	該当なし	
			児童文学	はがき一枚ください	河相文枝
			詩	虹	徳岡久生
			短歌	庭にて	池上須見
			俳句	村八分	清水公治
		佳作	小説	♪♪リングラスト・ホレ・ホレ・ヒ♪♪	川田由美
				汚物	小川佳世子
				青春回想ー戦争末期の予科練ー	坂本典也
			児童文学	傘をさした雪だるま	佐藤嘉子
				山のファンタジーー桃子物語ー	末次乃里子
			詩	帰路	美理洋
				無題	高田滋彦
				ふたりの山	久保田博
				心日和	紫麗恋
				すてねこ	鳥羽礼子
				花	松田悦子
			短歌	秒音	山内しづ子
				出稼	坂光男
				折に触れて	加藤進
			俳句	盆前後	川崎富美子
				幻想	池上寿見
				日日雑唱	飯尾婦美代
第4回	平成3年度	特別賞	小説	指輪	金昌南
		文学賞	小説	老人ごっこの終わり	風一作
				自転車	北澤朔
			児童文学	該当なし	
			詩	尖った唇	桐谷久子
			短歌	該当なし	
			俳句	硯の海	中山皓雪
		佳作	小説	青い麦	銀林ゆう子
				坂の上まで	宮下優
			児童文学	あまぐもおぼさんのなみだ	河相文枝
				1ねん3くみきになるあいつ	浅野竜
				月夜の船出	福井弘
				ふしぎなほらあな	保坂ちひろ
			詩	少年三題	志賀アヤノ
				自立	林孔人
				もうすこしすこやかだったころ	徳岡久生
			短歌	母のなき里	中村祐子
				花影	加藤良之
				秋の日	堀小夜子
				霊峰	池上須見
		俳句	俳句	ヘッドライト	清水公治
				朧	川崎富美子
				草の花	池上寿見

船橋市文学賞受賞者一覧

回	年度	賞	部門	作品名	作者名
第 3 回	平成 2 年度	文学賞	小説	トロピカル・ビーチ・レストラン	大野敦子
			児童文学	該当なし	
			詩	該当なし	
			短歌	木下の椅子	田宮妙子
			俳句	鮮烈の虹	塚越としを
		佳作	小説	休日	銀林ゆう子
				黄色いリボン	風一作
			児童文学	おい出せおざしきトド	河相文枝
				ゆうれい	多部田可奈子
			詩	のこる	徳岡久生
				冴える	桐谷久子
				太鼓	久保田博
				花	寺内勇
			短歌	春野ゆく	梶冢佐代子
				木屋匂う	中村祐子
				定年前後	斎藤勉
			俳句	さみしくて	川崎富美子
				夕稲架	中山 皓雪
				よく生きてきたね	小林秋翠
第 2 回	平成 元 年度	文学賞	小説	冬瓜	村尾文
			児童文学	該当なし	
			詩	該当なし	
			短歌	わが日々	高橋万里子
			俳句	葱の穴	久染康子
		佳作	小説	滅びの風景	風一作
				クジラを呼びに行こう	大野敦子
			児童文学	ウ三郎とオバケのペロペロ	かこいけん一
				ゴルフ場のいたずらギツネ	大竹幸子
				最後のクマたち	佐伯きみ子
			詩	保育所だより	滝口美智子
				シャッポ	久保田博
			短歌	船橋春夏秋冬	山崎俊定
				鳥の来る街	加藤良之
				十五歳の不安	中村祐子
			俳句	葛飾	滝口美智子
				子ら	鈴木みどり
				郷土史に	樋口ひろし
第 1 回	昭和 6 3 年度	文学賞	小説	該当なし	
			児童文学	どろぼうたぬき	細谷建治
			詩	該当なし	
			短歌	太陽が生きて	内藤美智子
			俳句	沿線ぐらし	小野タケ
		佳作	小説	前を行く影	園憲一
				ベイ	大野敦子
				黒い雀	龍田文子
			児童文学	先生になったキュピさん	佐藤嘉子
				ねずみの王国	東条愛
			詩	砂時計	門田晴美
			短歌	清き草はら	山田まさよ
				二〇二号室にて	高橋万里子
				船橋と私	小林美幸
				喪の一族	吉岡イマ子
			俳句	自己紹介	吉田陽代
				枯仕度	清水薫
				対岸	齋藤英石